

議 事 概 要

【名称】	第4回前橋市中心地区クリエイティブシティ推進協議会		
【日時】	令和7年5月9日（金）午後3時30分～午後5時10分		
【場所】	前橋プラザ元気21 506学習室		
【出席者】			
会 長	細 谷 精 一	前橋市副市長	
副 会 長	杉 崎 光 広	国土交通省高崎河川国道事務所長	
	中 川 哲	群馬県県土整備部技監	
	川 合 寿 憲	前橋市都市計画部長（前橋市アーバンデザイン協議会会長）	
委 員	吉 田 樹	福島大学准教授/前橋工科大学特任准教授	
	臼 井 敬太郎	前橋工科大学准教授	
	堀 込 隆 邦	前橋市自治会連合会桃井地区代表理事/紅雲町二丁目自治会長	
	松 澤 正 幸	前橋市自治会連合会中央地区代表理事/表町一丁目自治会長	
	塚 本 茂 二	大手町一丁目自治会長	
	武 尾 学	大手町二丁目自治会長	
	山 賀 博	本町一丁目自治会長	
	吉 荒 鎌 右	本町二丁目自治会長	
	楨 田 新 一	表町二丁目自治会長	
	植 木 修	前橋中心商店街協同組合理事長	
	阿佐美 忍	前橋市未来創造部長	
アドバイザー	谷 川じゅんじ	JTQ株式会社 代表取締役	
	橋 本 薫	前橋まちなかエージェンシー代表理事	
オブザーバー	金 井 亘	群馬県県土整備部都市整備課長	
	関 口 義 範	群馬県知事戦力部交通イノベーション推進課長	
	鈴 木 修	群馬県県土整備部前橋土木事務所長	
	纈 纈 正 樹	前橋市都市計画部市街地整備課長	
	村 井 誠 志	前橋商工会議所常務理事 兼 事務局長	
事務局	群馬県都市整備部都市計画課 前橋市都市計画部都市計画課		

1. 開会挨拶（事務局）

2. 資料説明

- ・前橋クリエイティブシティ都市空間デザイン国際コンペについて【資料1】
- ・稜線がつなぐまちづくり_前橋リッジライン【資料2】

3. 意見交換

(1)【委員からの意見】

- ・車社会の前橋市において、道路空間を人中心に再構築しようとする取り組みは、意義深いものだと感じる。
- ・中心部の車両通行を制限すると、周辺道路に交通が分散され、幅員が十分でない場合には生活環境への影響が懸念される。周辺道路も含めた交通処理の設計が重要であると考えられる。
- ・モビリティの小型化や進展により、道路空間がパーソナルモビリティで埋め尽くされるリスクも想定される。バスなどの中量輸送車両とパーソナルモビリティをどのように結びつけるかが重要である。モビリティハブの設計には、都市空間との調和や既存の公共交通との接続性を十分に考慮する必要があると考える。
- ・都市中心部の交通計画の将来像について、小型モビリティと中量輸送車両のどちらを中心にするべきか議論を深める好機だと思う。

(2)【アドバイザーからの意見】

- ・本構想による整備を単なる道路整備としてではなく、前橋のまちの営みを支える「新しい心臓」となる取組みとして位置づけ、人と人、人とまちのつながりを再生するための新たな仕組みとして、「前橋 ENGAWA プラットフォーム (MAEP)」を提案したい。
- ・MAEP (前橋 ENGAWA プラットフォーム) とは、「縁側」のような曖昧で開かれた空間の考え方を都市に再構築し、行政・民間・市民・大学・専門家がフラットに関わりながら対話を重ね、合意形成を図っていくためのプラットフォームである。
- ・MAEP を通じて、まち全体の変化を促し、若者の参画や人材育成にもつなげながら、前橋クリエイティブシティ構想を具体化し、前橋モデルを全国へ発信していきたい。

(3)【委員からの意見】

- ・まちが変化していくことは素晴らしいと感じるが、トランジットモール化によって車で出入りができなくなる場合、商店街へ行くことが困難になるとの声も聞く。
- ・中心市街地の整備が進む一方で、中心部から離れた地域に住む人々は、周辺地域の将来について不安を抱く可能性があると考えられる。

(4)【委員からの意見】

- ・本町二丁目五差路交差点の整備については期待するが、トランジットモール化等の実現には多くの課題があると感じている。

(5)【委員からの意見】

- ・前橋市は車社会であるため、本構想区域内の道路の車線数が三から二などに減少した場

合の渋滞が心配である。

(6)【委員からの意見】

- ・駅前通り（前橋駅前）は、交通量は比較的多くないと感じるため過度な渋滞の心配は不要だと考えている。
- ・ケヤキ並木については、落ち葉の清掃を負担に感じている住民もいることから、今後の整備についてはそういった点も考慮してほしい。

(7)【委員からの意見】

- ・大手町一丁目は駐車場が多く、主に県や市の職員が使用している。群馬大橋付近の河川敷の整備や現在駐車場として使用されている土地の使い方を見直すことで、地域の定住人口が増加する可能性はあると思う。

(8)【委員からの意見】

- ・本構想が非常に素晴らしいものである一方、一部区間で車の出入りを制限する方向性である点に不安を覚える。構想の対象区域周辺の交通状況を確認するにあたっては、丁寧な調査を行うとともに、住民への配慮をお願いしたい。

(9)【委員からの意見】

- ・前橋市の交通事情の今後の変化は具体的なイメージが持てていない。中心部から離れた地域では、飲食店の閉店時間が早く、人の流れが少ないため、「モビリティ」がどのように人を運び、人の流れを生み出すのかについて説明があれば、理解が深まり、地域住民への説明もしやすくなると思う。
- ・中心部だけでなく周辺地域にも配慮した交通計画にすることで、取り残される人を生みず、まち全体の活性化につながると考えている。

(10)【委員からの意見】

- ・これからのまちづくりにおいて重要な点は、少子高齢化が進む中で、定住人口をどのように増やすかであり、前橋リッジライン（資料2）周辺に住宅が整備され、住民が増えることが、まちの活気につながるのではないかと考えている。
- ・本町二丁目五差路交差点の整備について15年後では遅すぎると感じるため、早期の対応にぜひご尽力いただきたい。

【事務局からの説明】

- ・本コンペの目的は、「将来前橋をどのようなまちにしていきたいか」というビジョンを描くことであり、その実現方法やご指摘いただいた事項について、これから皆様と意見交換しながら計画を進めていきたいと考えている。
- ・対象エリアは1.5kmの道路区間と県民広場であるが、まち全体の賑わいづくりと一体で考えていく必要があり、本協議会において議論を深めていきたいと考えている。